

るようになつたそつです。

『季節や天候などの撮影条件が良いと思つた日には、朝4時半に起きて1人で撮影地に向かうこともあります。季節や時間の流れとともにさまざまな表情を見せてくれる関宿城博物館には数え切れないほど通っていますが、今でも行くたびに違うアンダルを探しながら撮り続けています』と語ります。

また、山崎さんは一段の腕前をもつほどの将棋好きで、日本将棋連盟関根金次郎支部の名誉支部長を務めています。

将棋は近所の先輩たちの影響で1歳のころ始めたそうですが、その後、

40年ほど前に近所の将棋好きな人たちが、地元の段位をもつお寺の住職のもとに集まり、一時期は約60名ほどになり、それが日本将棋連盟川間支部に発展し、その後、関宿町との合併の前に関根金次郎支部と合併をして、現在の支部となりました。

『昨年は第68期名人戦が市民会館

で開催され、女流名人位戦も関根名人記念館の対局室で毎年開催されています。

『日本近代将棋の父』といわれる関根金次郎十三世名人と渡辺東一名誉九段の出生地でもありますので、全国に誇れる野田市の将棋文化を大切にしていきたいと思っていました』と語ってくれました。



※花火は多重露光で撮影